

第49回 高輪築堤調査・保存等検討委員会【部会③】

日時：2024年11月6日（水）

全体会・部会①・部会②・部会③ 10:00～12:00(予定)

場所：JR 東日本現地会議室

次 第

【部会③】

(1)開会

(2)調査結果について

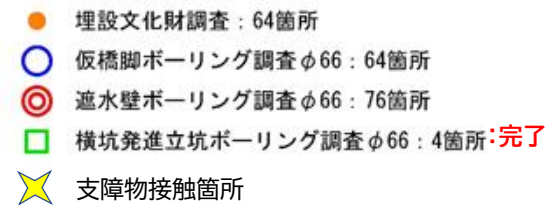
【資料1】

(3)その他

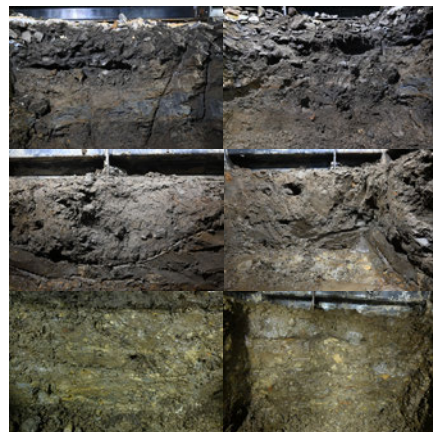
(4)閉会

※なお、資料のなかで個人に関する情報や事業の関係等で非公開である情報については、一部表現を修正しています。その他、写真・図について一部訂正や出典等の加筆・修正をしています。

品川方



 : 調査結果報告箇所







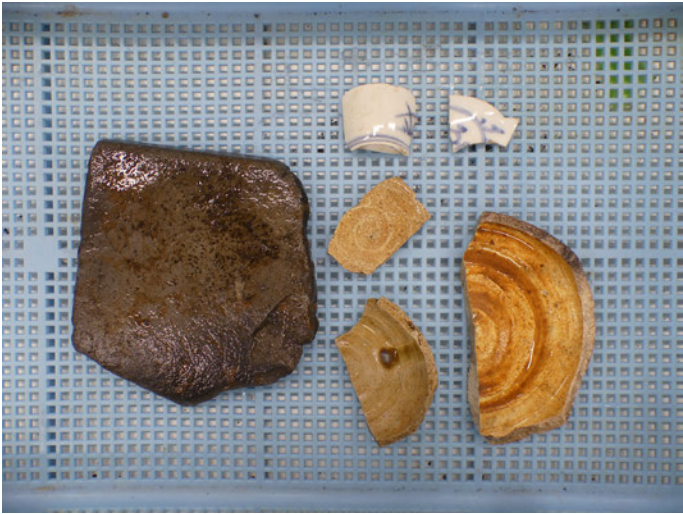
KP25-1 3段目一括出土遺物



KP25-1 3段目一括出土遺物



KP25-1 4段目一括出土遺物



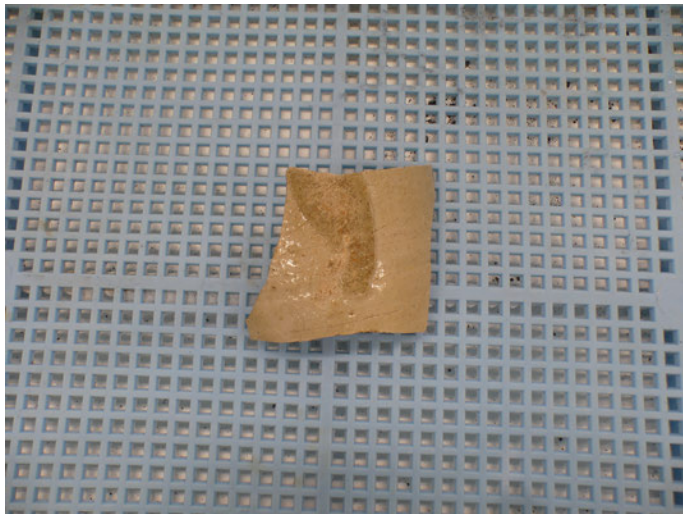
KP25-2 2段目一括出土遺物



KP25-2 3段目一括出土遺物



KP25-3 3段目一括出土遺物



KP25-3 4段目一括出土遺物



KP26-2 4段目出土遺物（すべて同一個体）



KP26-2 4段目出土遺物（外面）

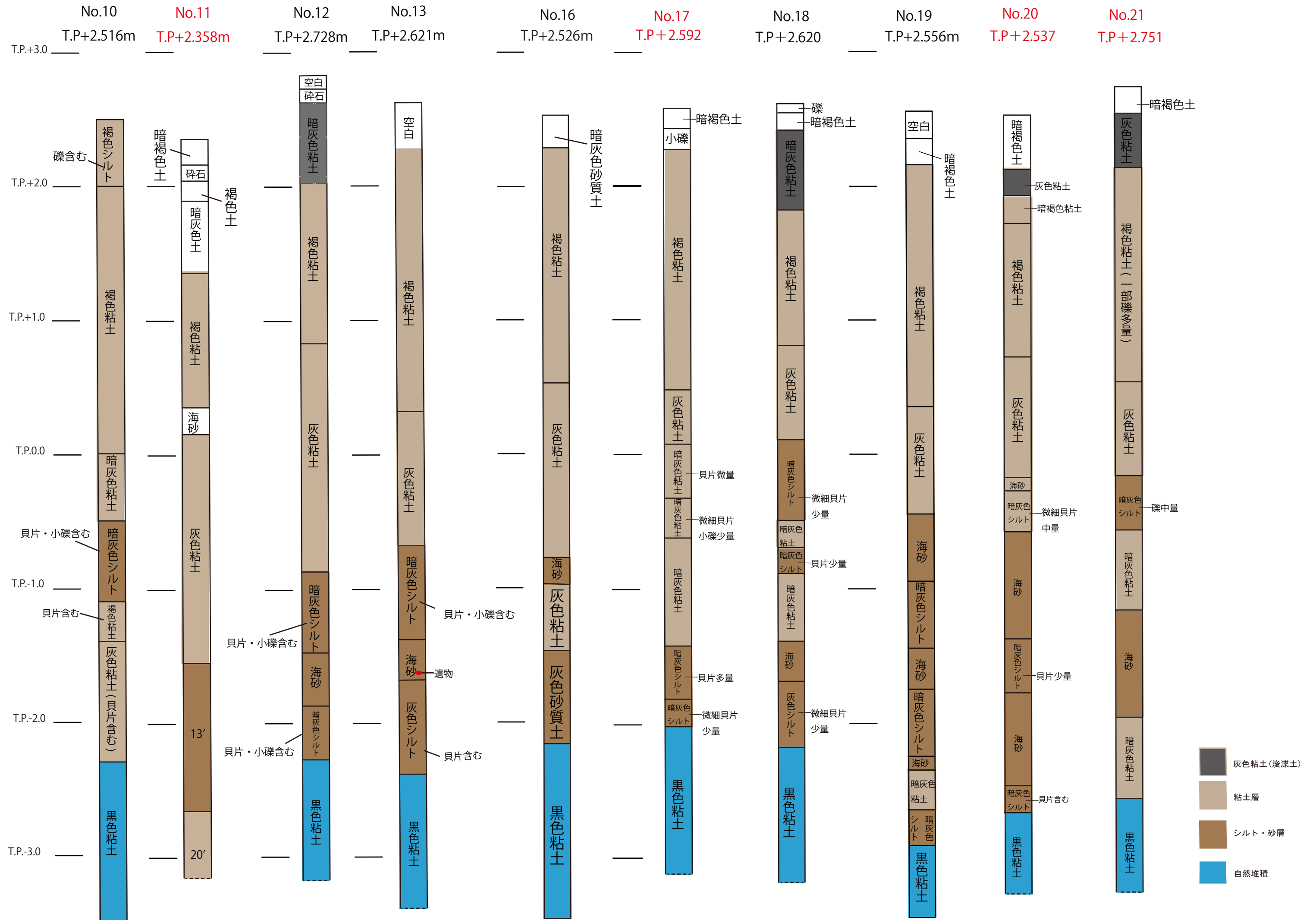


KP26-2 4段目出土遺物（内面）

- ・薩摩焼の可能性がある甕
- ・KP26-2 4段目ライナー設置作業中にライナー際で出土
- ・1/2以上遺存
- ・胴部最大径37cm、口縁内径23cm、高さ27cm(遺存範囲)
- ・内面に黒色付着物あり。
外面や口縁部にも少量同様のものが付着

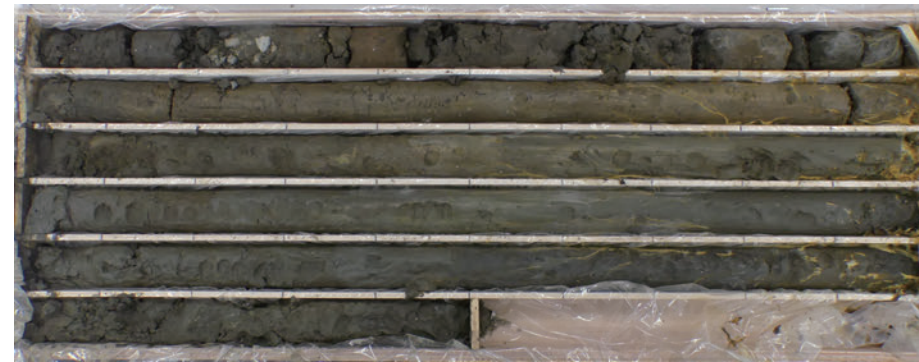
ボーリング調査結果について

資料3-1





No.10



No.11



No.12



No.13



No.16



No.17



No.18



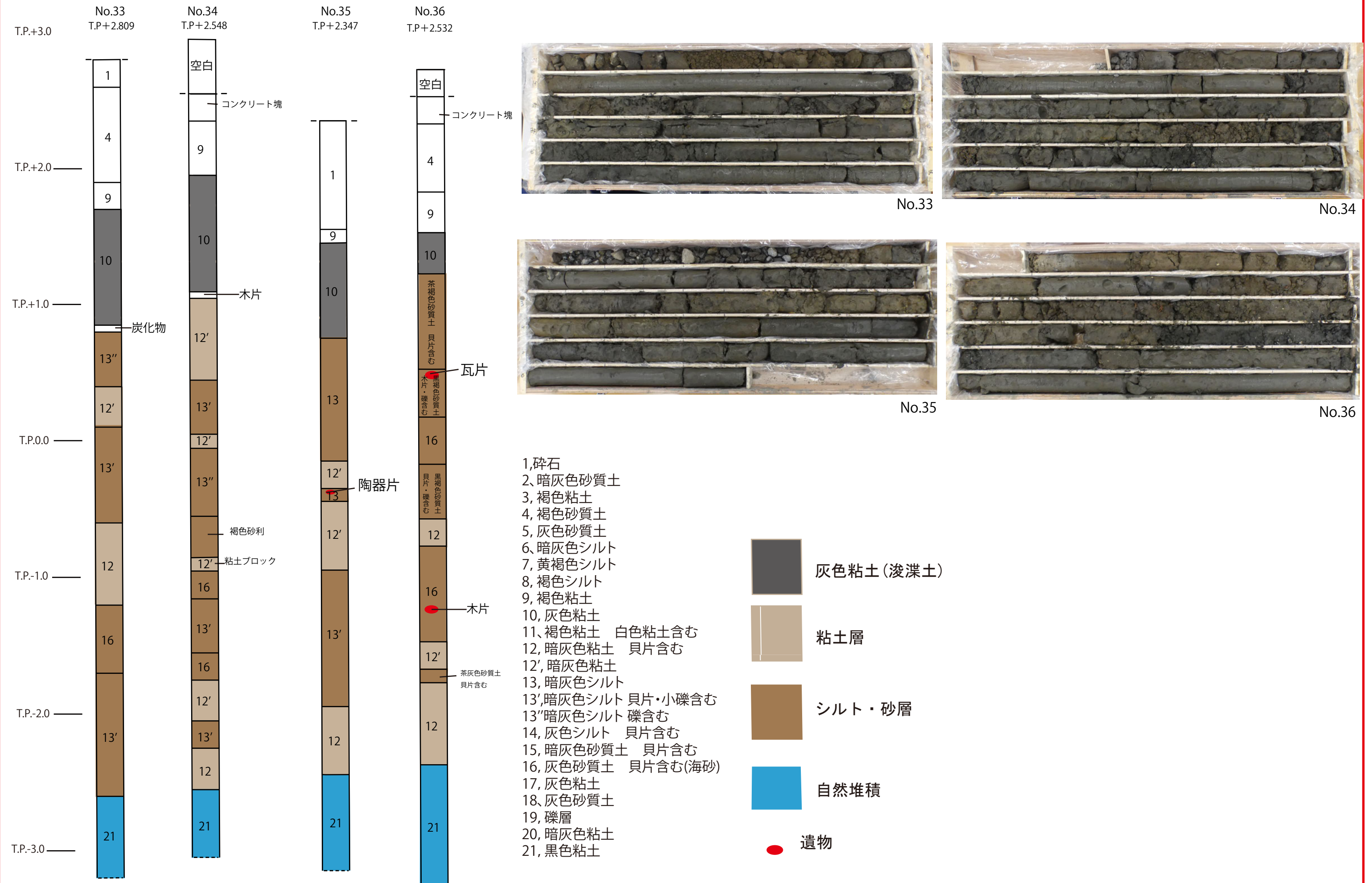
No.19

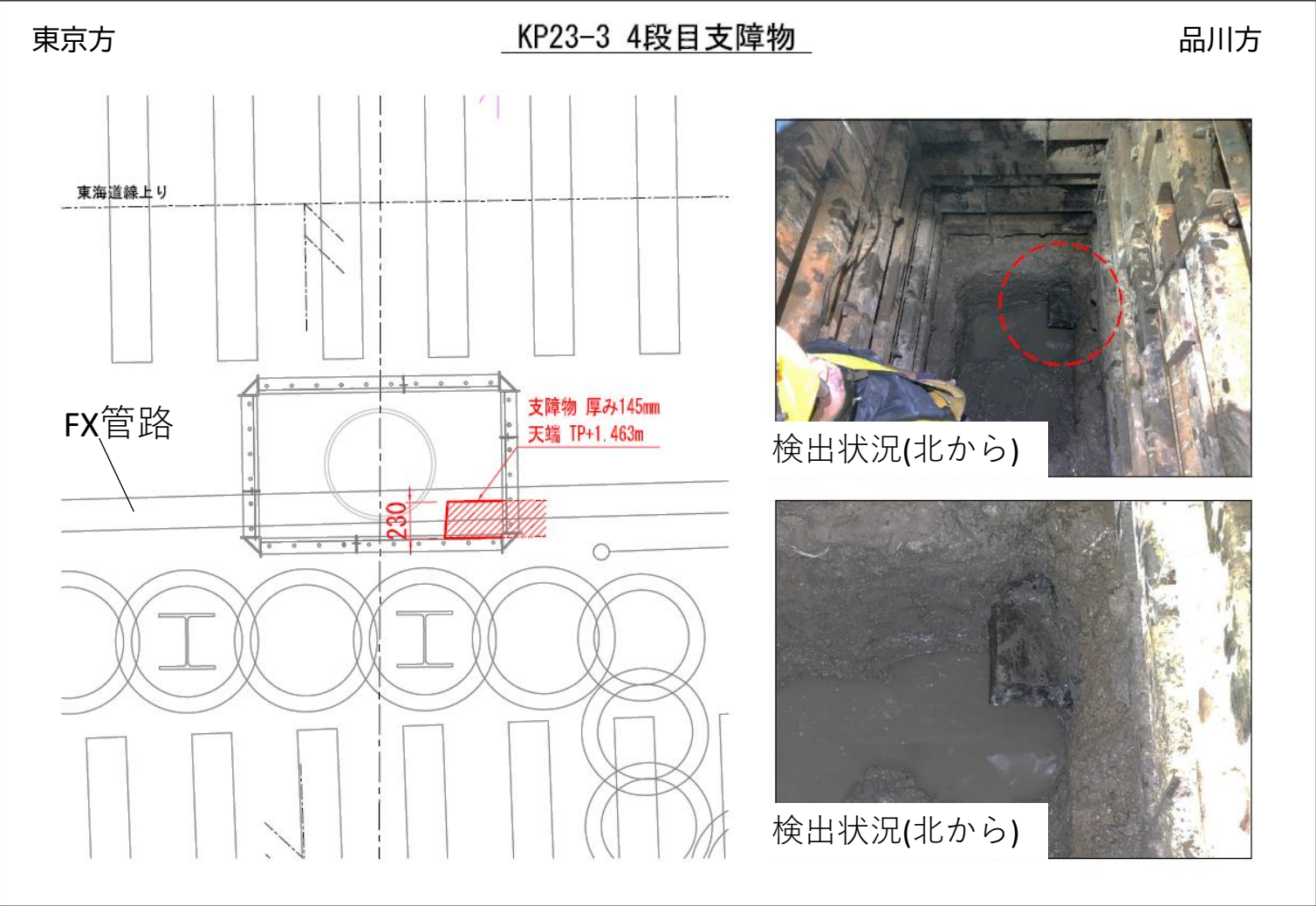


No.20



No.21



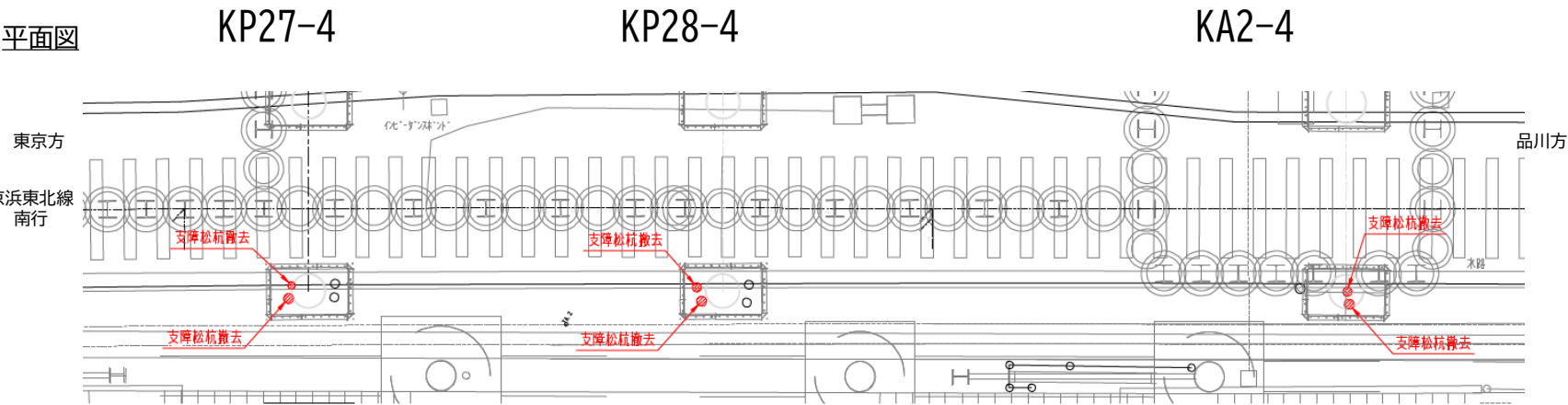


- ・ 粘土主体の盛土上面にやや傾斜して検出
- ・ 南(品川方)はライナーよりさらに20cm以上続く(さらに続く可能性あり)
- ・ 木材はφ100mm程度の礫を多量に含む粘土層で埋められていた。
- ・ 礫を含む粘土層より上、ライナー3段目ではFX管が敷設されていた。
- ・ 木材の規模は分岐枕木の大きさに相当する。

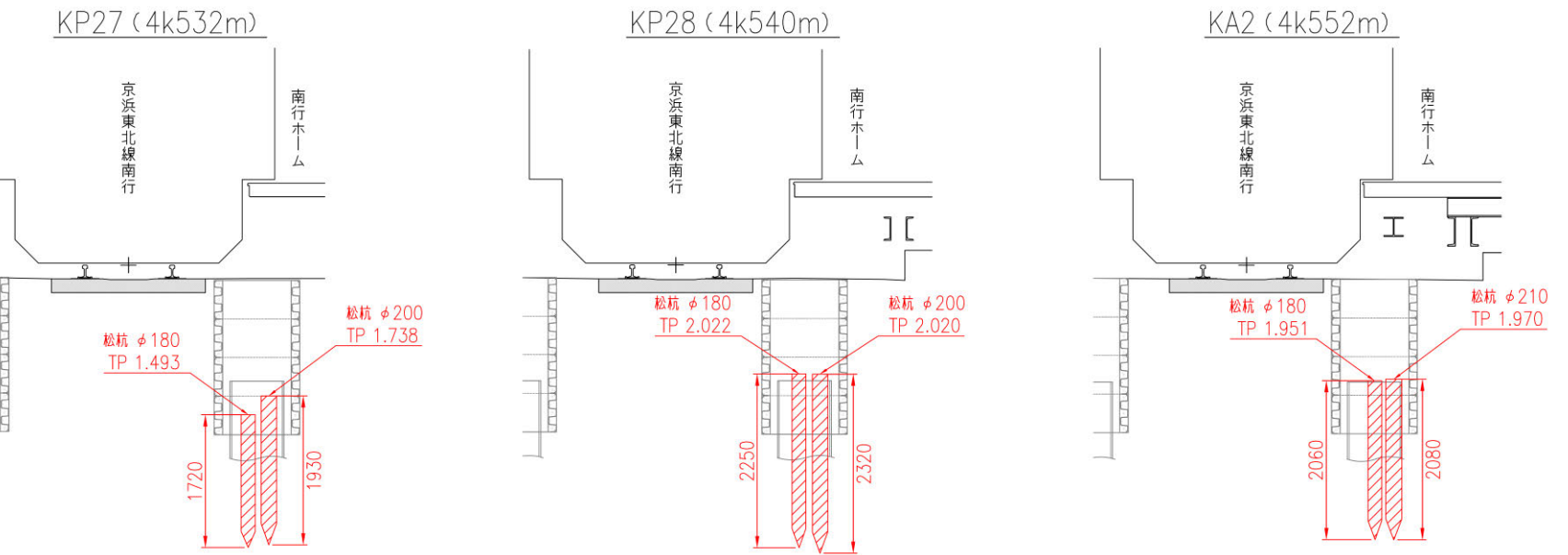
口元管調査で検出された松杭について

○調査結果

平面図



断面図



○調査結果と図面の比較

	杭長	杭径	断面本数
KP27-4	1720mm 1930mm	φ180mm φ200mm	2本
KP28-4	2260mm 2320mm	φ180mm φ200mm	2本
KA2-4	2060mm 2080mm	φ180mm φ200mm	2本
竣工圖	長九尺 (2727mm)	末口6寸 (181.8mm)	2本



○田町停車場構内乗降場擁壁竣工圖 抜粋 JR東日本提供

